

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

研 究 科	専 攻	試 験 科 目	参考書等持込
経済学研究科	経済学専攻	国際マクロ経済学研究	不可

- ・ 以下の問題 1.および問題 2.のすべてに答えてください。
- ・ 解答用紙に、対応する問題の番号を冒頭に記したうえで解答を記述してください。

問題 1.

2010 年以降の日本の国際収支に関して、経常収支（current account）の推移にはどのような特徴がありますか。経常収支を構成する主要な項目の意味を簡潔に説明したうえで、それぞれの動向について説明してください。

問題 2.

円ドル為替レートは、2010 年代には 1 ドル＝約 110～120 円の水準でしたが、2023 年以降は 1 ドル＝約 150 円の水準へと円安に変化しました。

（1）このような為替レートの変化が生じた原因について、金利平価説（金利裁定）に基づいて説明してください。その際、適切な経済変数の記号を定義したうえで金利平価式を導出し、日本とアメリカの行った金融政策について具体的に言及すること。

（2）新聞などの報道では、1 ドル＝約 150 円の為替レートは「約 40 年ぶりの円安である」と表現されることがあります。このような表現の妥当性について、国際マクロ経済学の観点から論評してください。

問題は以上です。